

平成28年度

第4回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時 : 平成29年3月15日(水)
15:00~17:00

場 所 : 関東森林管理局
東京事務所 会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 木材の需給動向について

- ① 木材の需給、価格等の動向
- ② 関東局における国有林材の供給状況

(2) 国有林材供給調整の必要性について(審議)

3. 閉 会

平成28年度 第4回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 出席者名簿

(五十音順・敬称略)

所 属 ・ 役 職 名	氏 名
財団法人 林業経済研究所 研究員	荒谷 明日兒
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一
栃木県森林組合連合会 参事	枝 任郎
福島県郡山地区木材製材協同組合 福島県中央木材市場 専務理事	遠藤 和憲
栃木県 県西環境森林事務所 林業経営第一課長	川上 晴代
協和木材株式会社 代表取締役	佐川 廣興
有限会社佐川運送 代表取締役社長	佐川 文教
群馬県森林組合連合会 木材部長	鈴木 克志
静岡県森林組合連合会 代表理事常務	望月 鉄彦

平成28年度 第4回関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 議事概要

1. 開催日時・場所

平成29年3月15日（水）15:00～17:00

関東森林管理局 東京事務所会議室

2. 検討結果

需給動向や各委員からの状況報告等を総合的に勘案した結果、現時点において国有林材の供給調整を実施する必要はない。

3. 主な意見

(1) 需給動向について

○福島県では、丸太の供給が少ない状態が続き、製材工場等の需要に追いつかず価格が上昇したが、現在はその反動もあり下落している。

○栃木県では、製材品の在庫が少ない状態となっている。丸太については順調な供給が行われており、5月頃までは続くのではないかと見られる。

○静岡県では、スギ丸太の価格は大きな変動がなく、現状では若干不足している。

○このところ、関東圏では急に丸太が供給されるようになった印象があるが、春先にかけて価格の維持ができるかどうか不安がある。

(2) 各委員からの状況報告等について

○大手プレカット工場等の需要者が求めているのは、集成材やKD材といった加工された材料だが、供給されるのは未加工のグリーン材が多くを占めており、需要と供給のミスマッチが起こっていると感じる。

○A材上のランクとして「S材」を提唱してみてもどうか。広葉樹も含めたこれら高付加価値材の用途として、洋室向けの内装材や4m以上の中・大断面の加工を行い、輸入材に対抗できる販売方法を探る必要がある。

○森林認証について、ヨーロッパ等で受け入れられてきたのは伝統的にその風土があったからで、日本では自然とのふれあいが少ないためか、理屈では環境問題が大切なことは分かっているけれども行動に結びついていない。小さい頃から環境問題を学んでいる今の子供達が消費者になる頃には、森林認証材を当たり前を選択する時代が来るのではないかと見られる。